

学年会・学年委員会活動の活性化をとおり、 基本的な生活習慣の確立を図る指導

須賀川市立大森小学校教頭 小池 修
(前郡山市立大槻中学校教諭)

1. 研究の趣旨

本校は、教育目標の一つに「ねばり強くとりくむ生徒」を掲げ、その実現のため、生徒指導の重点事項に、基本的な生活習慣の確立を図る指導を、計画的に進めている。第2学年としても、学校生活のなかでも、基本的な生活習慣が確立されていない内容のアンケートを、学年の担当教師で実施し、その結果を協議し、特に清掃・あいさつ・時間の三項目に問題があり、今年度の学年重点事項としてまとめられた。本研究では、下記のように、基本的な生活習慣の確立を図る内容について焦点化した。

◇生徒に身につけさせたい基本的な生活習慣

- (1) 清掃をしっかりと行う。
- (2) あいさつと会釈をしっかりと行う。
- (3) 時間をしっかりと守る。

上記の事を中心として、2学年を対象に、学年の副主任・係として、学年会で先生方と十分に共通理解を図るとともに、さらに学年委員会の組織を通し活動させ、学校生活の中で実践を重ねていけば、基本的な生活習慣は確立するのではないかと考え、本主題を設定し、研究を進めることにした。

2. 研究の見とおし

学年会を定期的で開催し、指導のねらいや実践のしかたについて、十分共通理解を図るとともに、学年委員会活動のねらいや

内容を明確にし、委員会活動を活発にすれば、生徒の基本的な生活習慣は確立するであろう。

3. 研究の方法と対象

(1) 研究の方法 (略)

(2) 研究の対象

- ① 第2学年担当教師 15名
- ② 学年委員会（生活・整美・学習）の各委員 30名

4. 研究の内容と推進計画 (略)

5. 研究の概要と考察

(1) 指導と手だて

① 学年会の充実

問題点を明確にし、学年主任を中心として、学年会を充実させるため、以下のことについて実践を行った。

ア 毎週一回、火曜日、定例の学年会を開催する。

イ 教師間で、何でも話しできる場とするよう、常に心配りに努力する。

ウ 日常の生徒の行動をよく観察し、指導のしかたについて評価する。

エ 積極的な情報交換の場とする。

② 組織の改善と活性化

副主任、係の立場を明確にし、また基本的な生活習慣の確立を図るための組織を見直し、さらに改善工夫し、教師と生徒の組織の関連を図り、実践の意